自分を守る！	▶エネルギー供給の維持	10 自立・分散型システムを導入している例

053 燃料電池車で発電した電力を家庭や屋外で利用する

取組主体	法人番号	事業者の種類（業種）	実施地域
本田技研工業株式会社	6010401027577	サプライ関連事業者（製造業）	東京都

- 本田技研工業株式会社では、水素で発電する燃料電池自動車と、発電された電気を外部へ供給する「インバーターボックス」とを組合せ、自動車から様々な電気機器に電力を供給できる仕組を開発している。一般家庭への給電に加え、キャンプ等のレジャーや、屋外工事作業等の産業用としても活用可能である。
- また、災害時には燃料電池車は移動する小さな発電所として生活のための電源ともなる。仮に燃料電池車に容量上限の水素を充填していた場合、一般家庭の約 6 日分の電力を賄うことができる。平常時にはピークカットやピークシフトに、非常時には非常用電源として、強靭化に貢献できる。
- 同社は鳥取大学医学部附属病院と共同で、燃料電池自動車から様々な医療機器へ給電を行い、災害時等の総合的な医療活動への効果を検証した。
- また、鳥取県での大規模地震を想定した医療関係者による実働訓練においても、燃料電池車から外部給電器を介して機器へ電力供給を行って効果を示した。東京駅周辺の丸の内仲通りでも平成 27 年 12 月 24、25 日の 2 日間、街頭のイルミネーションの一部や、キッチンカー、オーディオセットに燃料電池自動車から給電した。